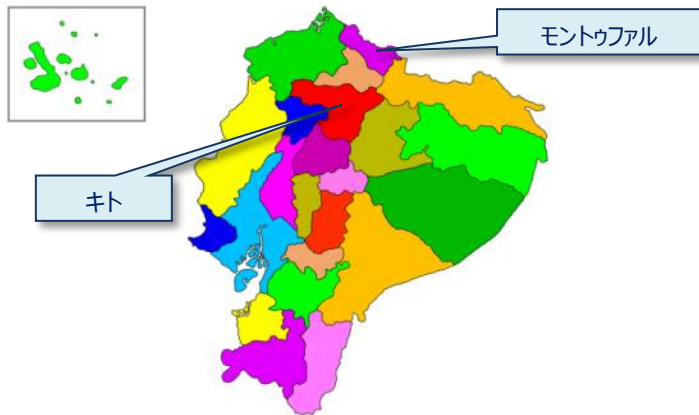


「チレス・バホ桥梁建設計画」

在エクアドル日本国大使館において、平成26年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「チレス・バホ桥梁建設計画」のための、当館とモンツファル市による贈与契約署名式が行なわれました。

カルチ県モンツファル市中心部から約1kmのチレス・バホ地区を流れるサン・ガブリエル川は、同市中心部と村落部を連絡する交通の要所です。同サイトは農産物の運搬や人及び家畜の移送、日常的な通学や通院などのために必要不可欠な交通経路ですが、既存桥梁は構造が脆く、降雨時には橋の路面に大きな水溜りが複数できてしまいます。そのため、安全面を考慮し通行止めとなる上、特に雨季には増水した川の激しい水流により基礎構造が年々流される等、いつ大規模な事故が起きてもおかしくない危険な状態であることから、鉄筋コンクリート製の安全な桥梁の建設が求められています。

本計画は、前述の地区において1桥梁を建設することにより、安全な交通を確保し、地域住民の生活環境の向上に貢献しようとするものです。



供与額: 9,956,856円
贈与契約締結日: 2015年2月5日

計画実施前



署名式

